

DMG森精機株式会社
2016年度(1-12月) 第3四半期
決算説明会

IR Conference
2016/11/7

DMG MORI
COMPANY LIMITED

目次

- 1) DMG MORI AGとの完全一体化
- 2) 決算概要
- 3) 事業環境
- 4) DMG MORI グループの取組

DMG MORI AGとの完全一体化

2016年8月 ドミネーション・アグリーメント発効

“グローバルワン”

DMG MORI

2009

DMG MORIブランドに統一
業務・資本提携の開始

2013

2016

ドミネーション・アグリーメント

2016年4月: 76.03%持分取得

* AGへの累積投資額: 2,167億円

2016年8月: ドミネーション・アグリーメント発効

2017

~2020

- 次世代製造業へのシフト
- 1) デジタル・ファクトリー
(Technology Cycles, IoT)
 - 2) 人材開発・育成
 - 3) 健全なマージン、強固なB/S

2020~

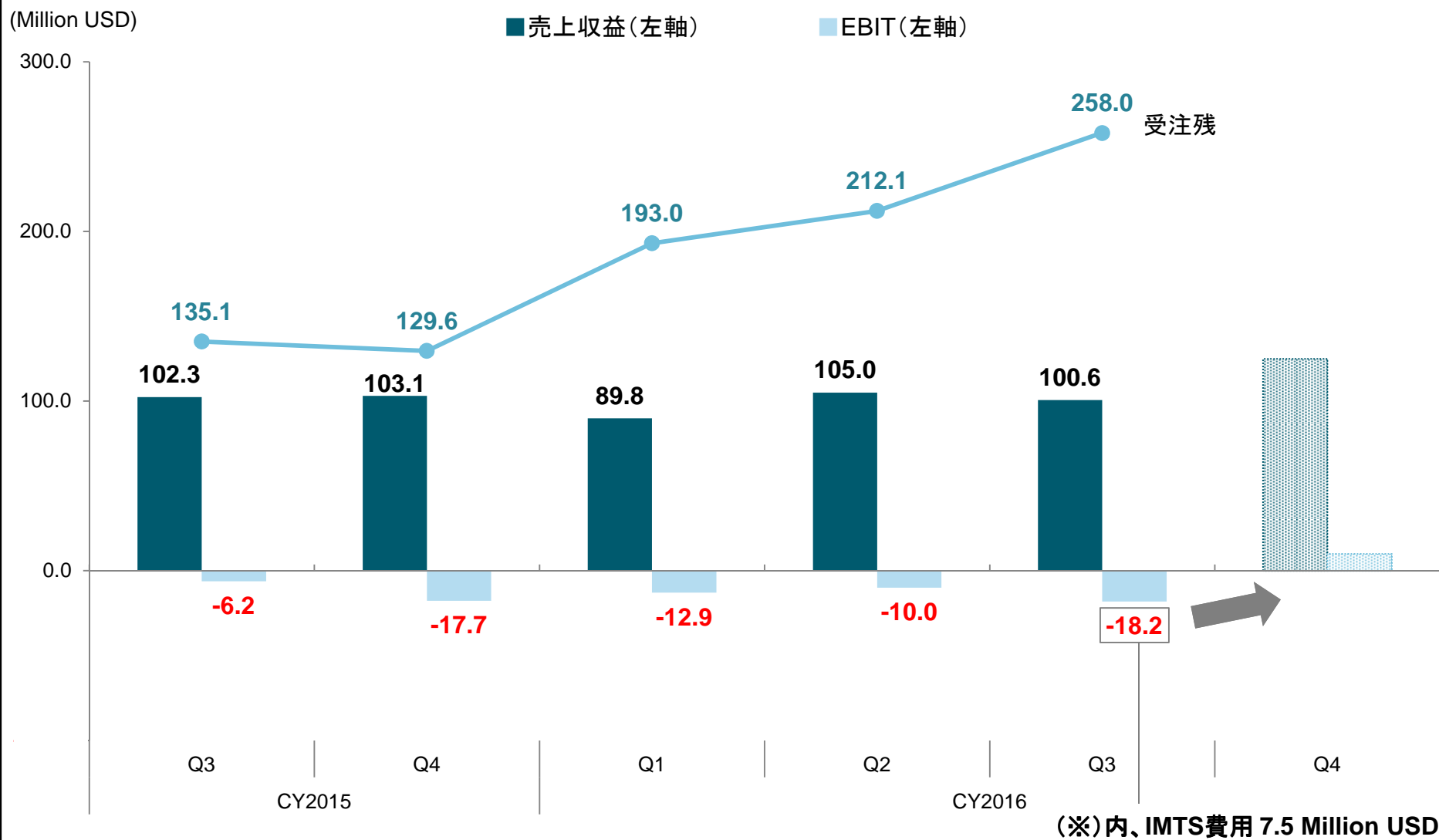
成長加速へ

経営効率の加速へ

2016年 負の遺産処理費用

(億円)	3Q	4Q	2016 通期影響額	来期以降 効果額
工場閉鎖	-4	-46	-50	+30
エネルギーソリューション事業撤退	-	-47	-47	+4
過剰マーケティング費用改革	-3	-21	-24	+21
過剰管理層削減/ 不要子会社・管理会社削減	-	-9	-9	+10
小計	-7	-123	-130	+65
米国グループ会社黒字化				+35
			合計	+100

米国グループ会社黒字化



目次

- 1) DMG MORI AGとの完全一体化
- 2) **決算概要**
- 3) 事業環境
- 4) DMG MORI グループの取組

損益計算書(第3四半期累積)

(億円)	2015年 1~9月 プロフォーマ	2016年 1~9月 実績	増減
売上収益	3,067	2,678	-390
営業利益(一過性費用前)	230	33	-197
営業利益率(%)	7.5%	1.2%	
一過性費用/利益	257	-7	-264
営業利益	487	26	-461
営業利益率(%)	15.9%	1.0%	
金融収支	-15	-19	-4
(うち、DAに伴う経済補償額)		(-2)	-
当期利益		0.9	
親会社所有者に帰属	385	-19	-404
非支配持分帰属	47	20	-27
(為替)	USD	108.7	-12.2
	EUR	121.2	-13.6

第3四半期における主な会計処理

(1) ドミネーション・アグリーメント発効による影響

P/L AG非支配株主に対する経済補償額を金融費用(営業外)として計上(損金不算入)
2016年3Q : 2.0億円
2016年4Q以降: 約4.5億円/四半期 (EUR 4.1Million/ @110円換算)

B/S AG非支配株主持分のみなし取得(8月24日ドミネーション・アグリーメント効力発生日)

- 株式買取債務の計上
- AG株式のみなし取得価額と、AG社純資産の差額を株主資本から控除

(借方) 非支配持分	391 億円	(貸方) 株式買取債務	854 億円
株主資本	463 億円		

(2) 永久劣後債・ローンによる影響

P/L

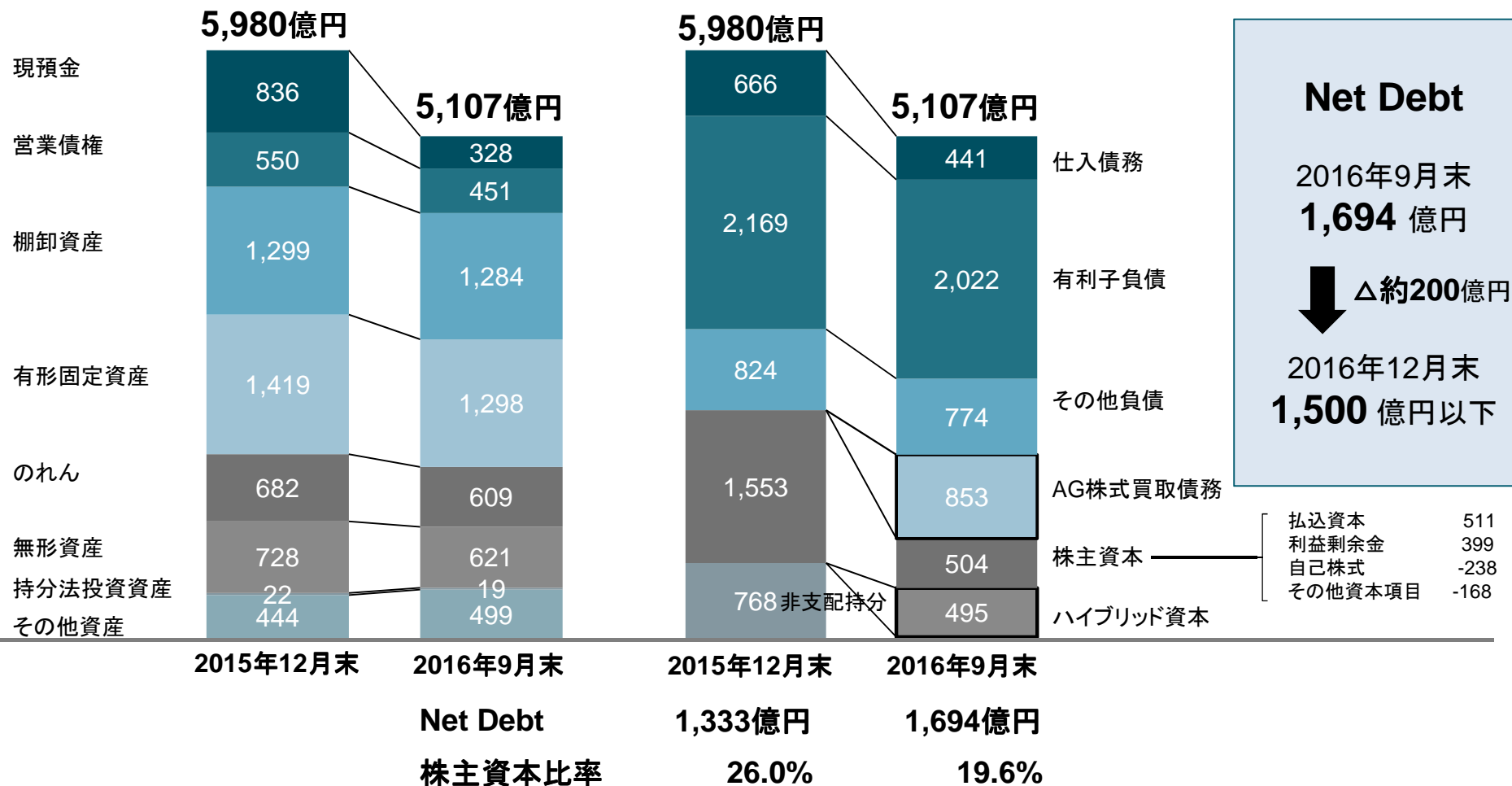
- ハイブリッド資本持分利益は、親会社所有者に帰属する四半期利益に含まれる(当第3四半期計上額 41百万円)
- EPSの計算においては、ハイブリッド資本持分利益を控除済

B/S 資本の部に「ハイブリッド資本」 495億円 計上

貸借対照表

資産の部

負債・資本の部



DMG MORI AG連結対象後の 株式追加取得に係る株主資本の減少

2015年
4月1日

26%を追加取得

2016年
4月1日

2016年
8月24日

DMG MORI AG 連結化
持分50% *議決権ベース

(2015年4月1日時点)

AG株式時価評価額 1,709億円

AG社純資産 x 50% 982億円

差額 727億円

連結消去額 5億円

のれん 722億円

持分76%

(2015.4連結化以降)

追加取得額 902億円

AG社純資産(追加取得相当) 428億円

差額 474億円

株主資本の控除 455億円

自己株式 19億円

ドミネーション・アグリーメント
発効(24%みなし取得)

AG株式買取債務の認識

追加取得額 854億円

(@ EUR 37.35 x 非支配持株数 + 経済補償)の現在価値

AG社純資産(24.0%相当) 391億円

差額 = 株主資本の控除 463億円

株主資本からの控除額累計
918億円

キャッシュフロー

(億円)	2015		2016			
	7~9月	10~12月	上期 1~6月	3Q 7~9月	4Q計画 10~12月	通期 1~12月
営業活動によるキャッシュフロー	-32	355	-133	-32	300	135
(内、税引前当期利益)	(42)	(-82)	(23)	(-16)	-	
(内、減価償却費及び償却費)	(40)	(68)	(84)	(39)	-	
(内、運転資金の増減)	(-58)	(326)	(-187)	(-34)	-	
(内、法人所得税)	(-17)	(-28)	(-26)	(-21)	-	
投資活動によるキャッシュフロー	-80	-78	-67	-28	-50	-145
(内、固定資産の取得による支出)	(-78)	(-98)	(-71)	(-25)	-	
財務活動によるキャッシュフロー	70	218	-14	-150	-	
(内、非支配持分からの取得)	(-225)	(-64)	(-613)	(-1)	-	
期末の現預金残高	357	836	530	328	-	

2016年通期 業績予想

(億円)
売上収益
営業利益(一過性費用前)
営業利益率(%)
一過性費用/利益
営業利益
営業利益率(%)
金融収支
(うち、DAに伴う経済補償額)
親会社所有者に帰属する当期利益

2015 パフォーマンス	2016 従来予想	2016 今回予想
4,284	4,100	3,700
360	250	150
8.4%	-	4.1%
5.1	0	-130.0
411	250	20
9.6%	-	0.5%
-21.3		-28.5
-		(-7)
324.1	145.0	-80.0

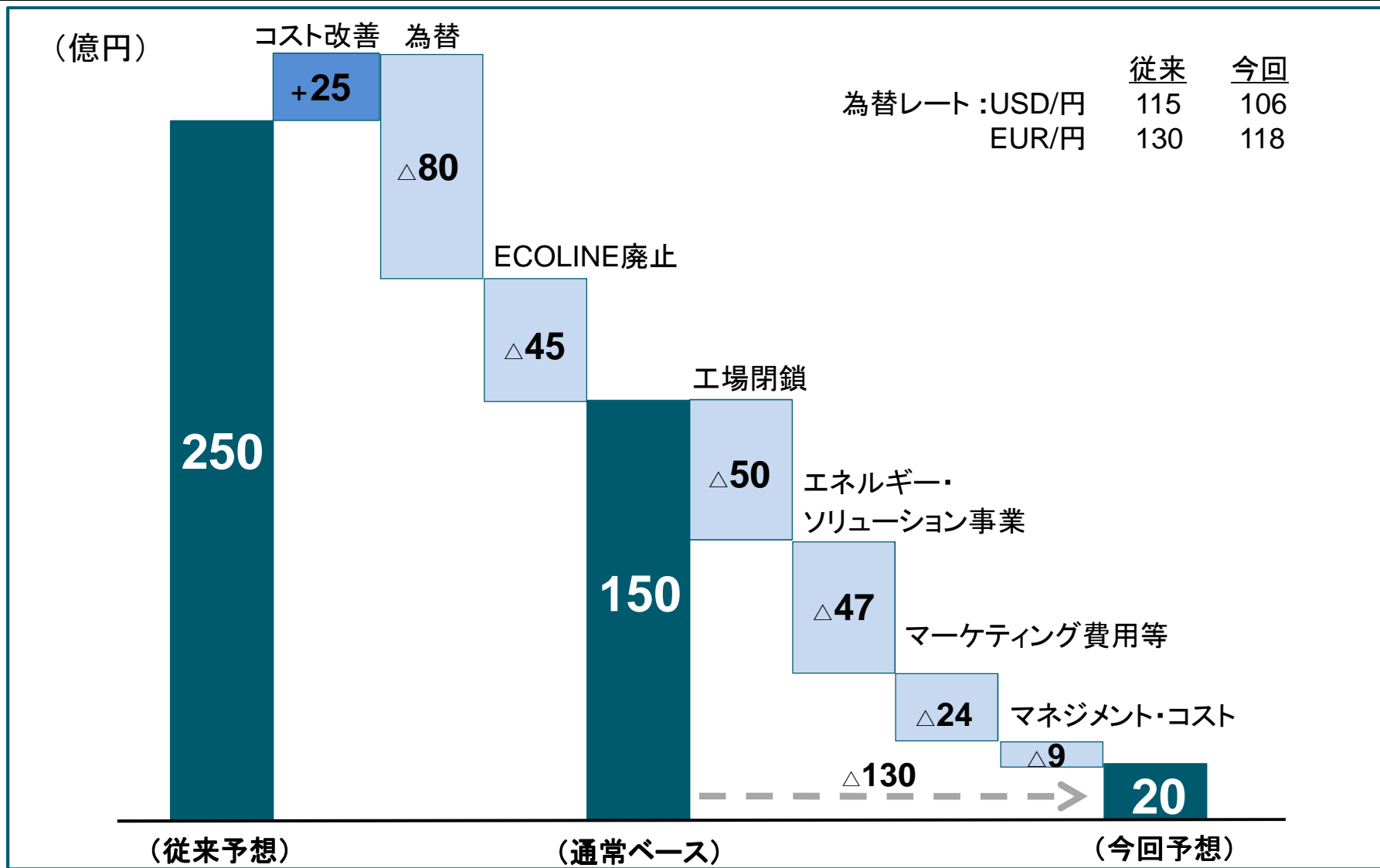
為替レート USD
EUR

121.1 111.4 106.5
134.3 125.6 118.4

2016 4Q: USD 100
EUR 110

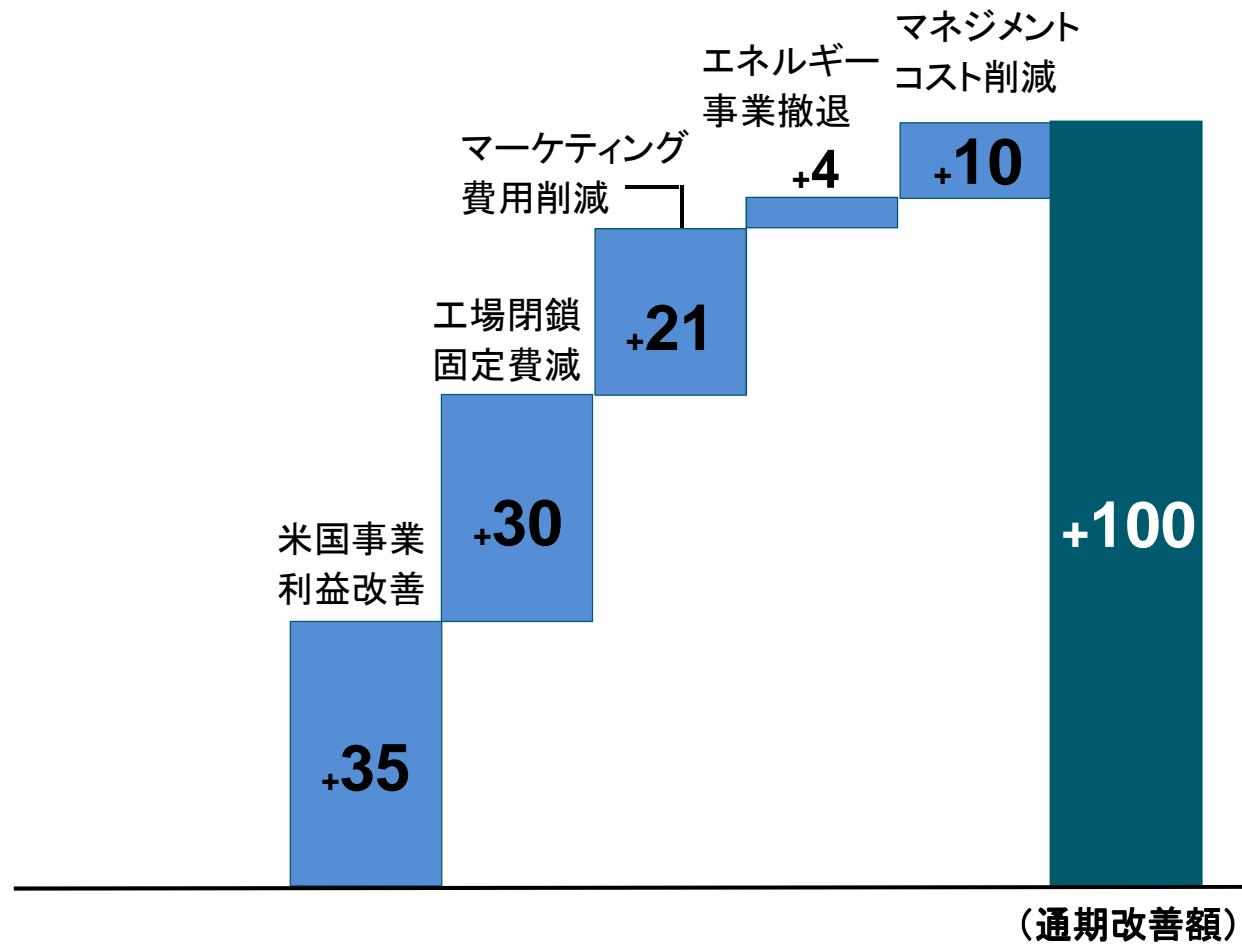
CY2016 営業利益増減分析

- 従来 vs. 見直し後



CY2017 収益改善要因

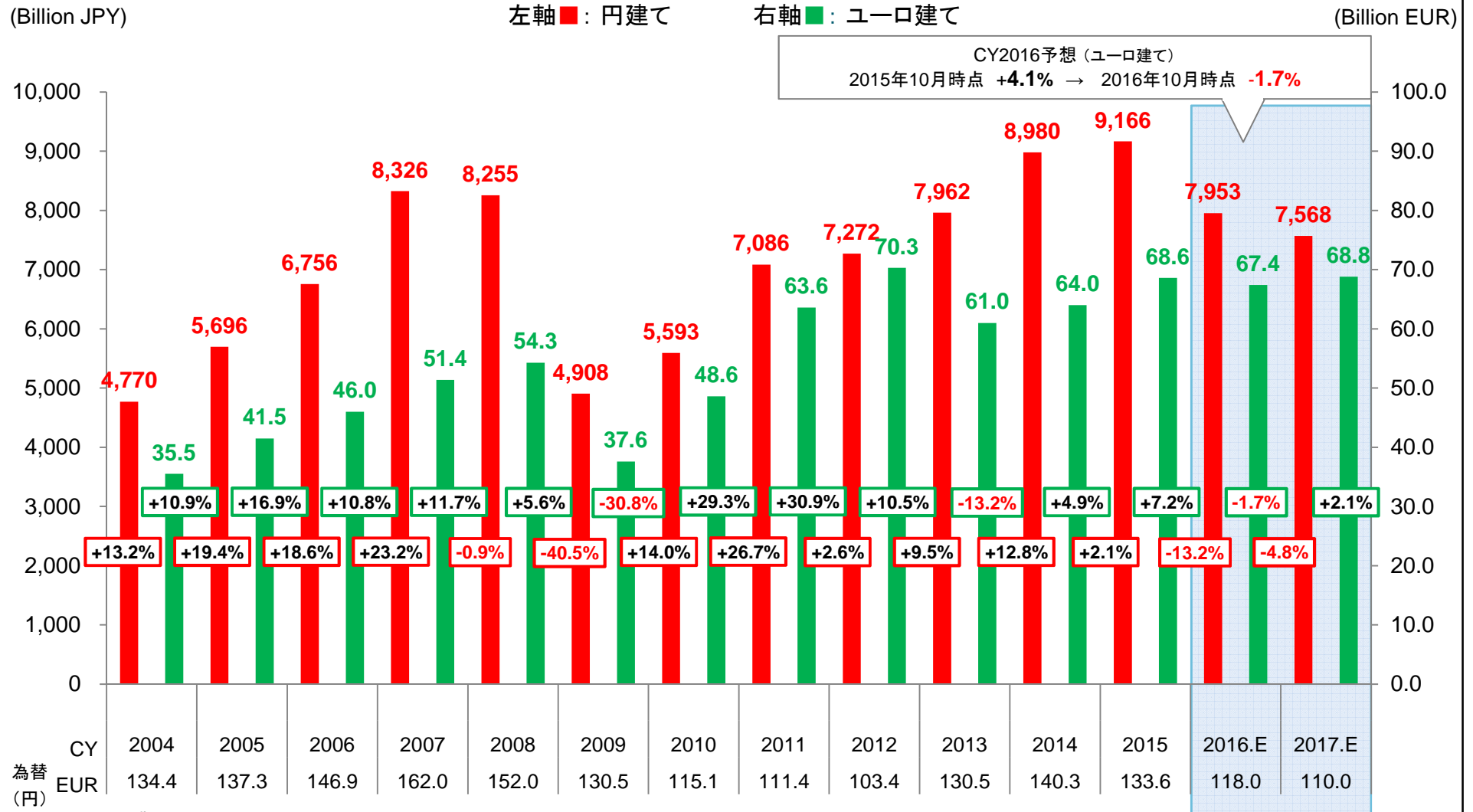
(億円)



目次

- 1) DMG MORI AGとの完全一体化
- 2) 決算概要
- 3) 事業環境**
- 4) DMG MORI グループの取組

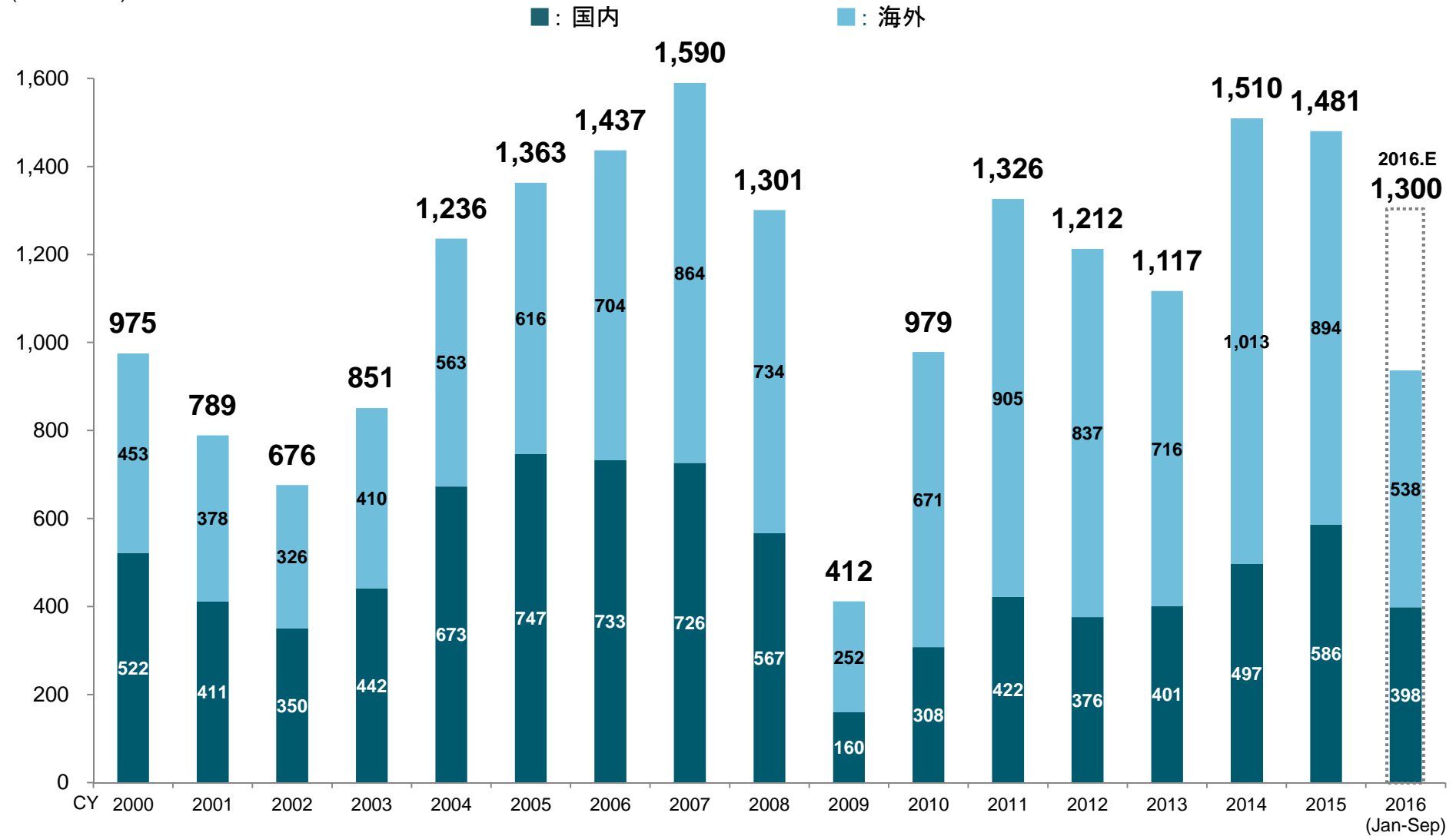
全世界工作機械消費額 (ドイツ工作機械工業会/Oxford Economics)



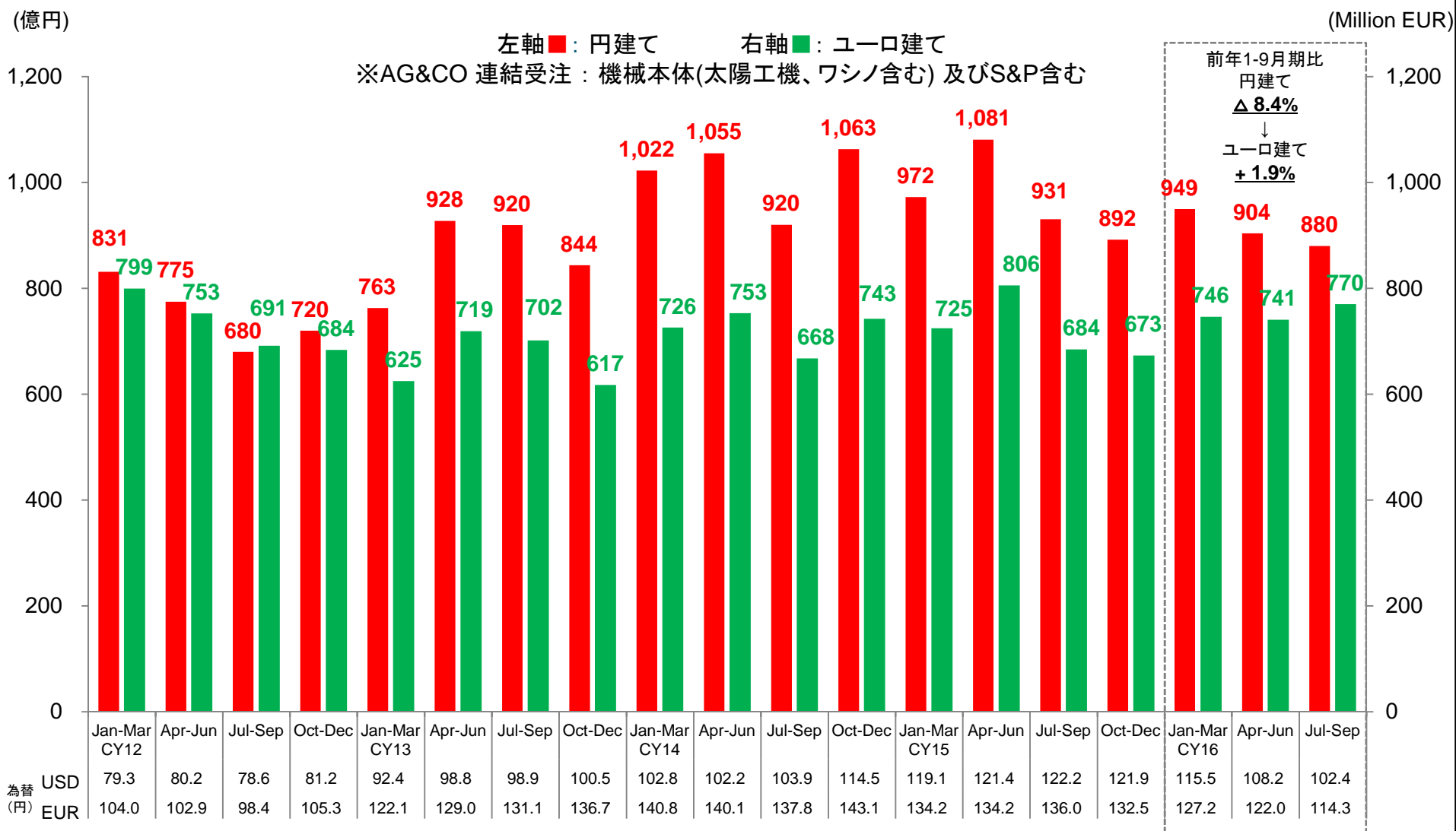
* 出典: VDW / Oxford Economics, Oct. 2016; 2016 without exchange rate effects;
Total market (cutting and forming); DMG MORI AKTIENGESELLSCHAFT relevant: cutting

日工会受注

(Billion JPY)



DMG MORI 四半期連結受注

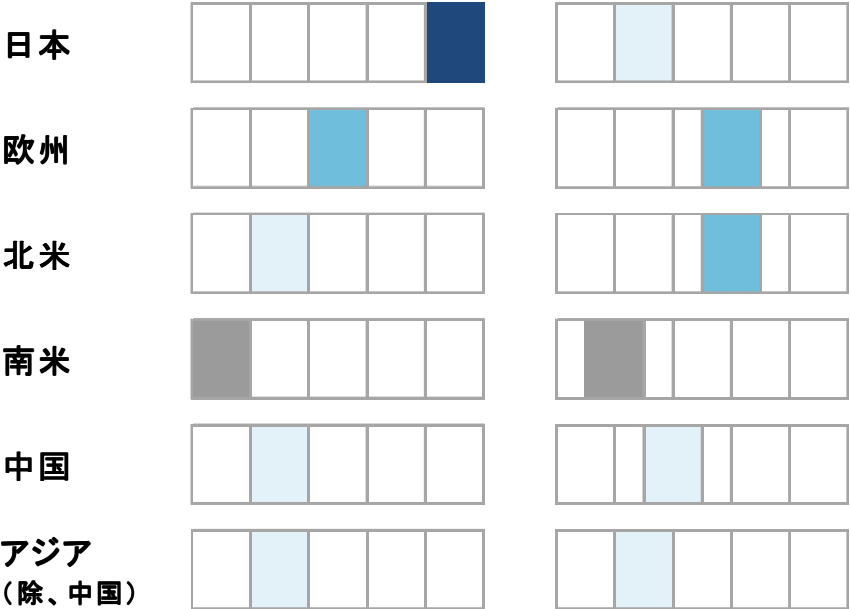


需要概況（地域別、業種別）

地域



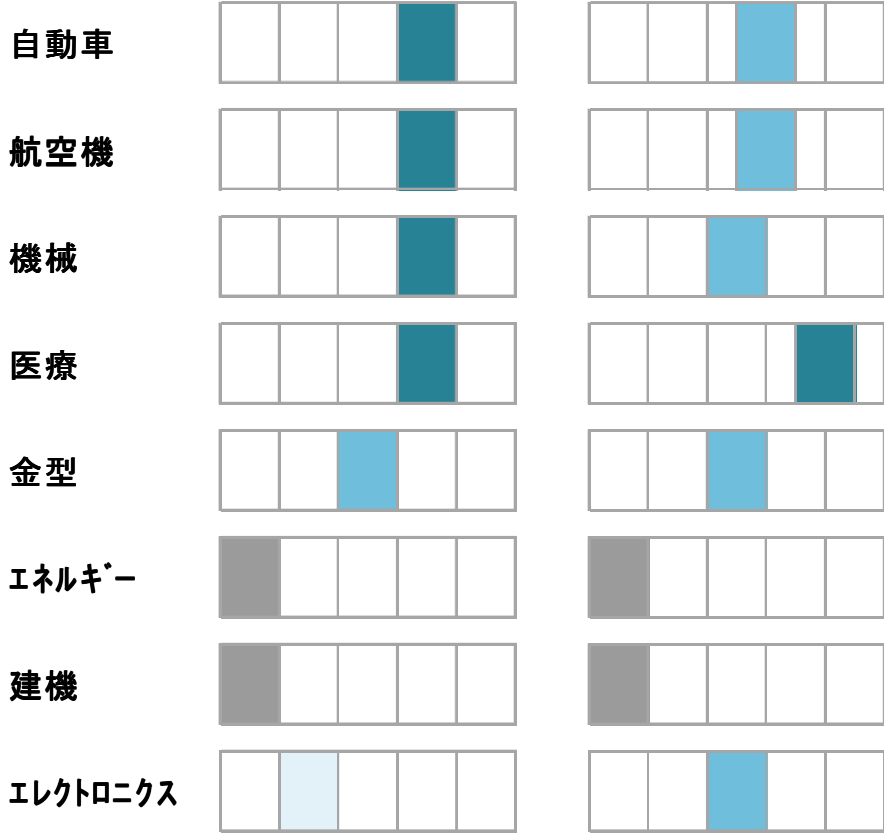
CY2015 → CY2016



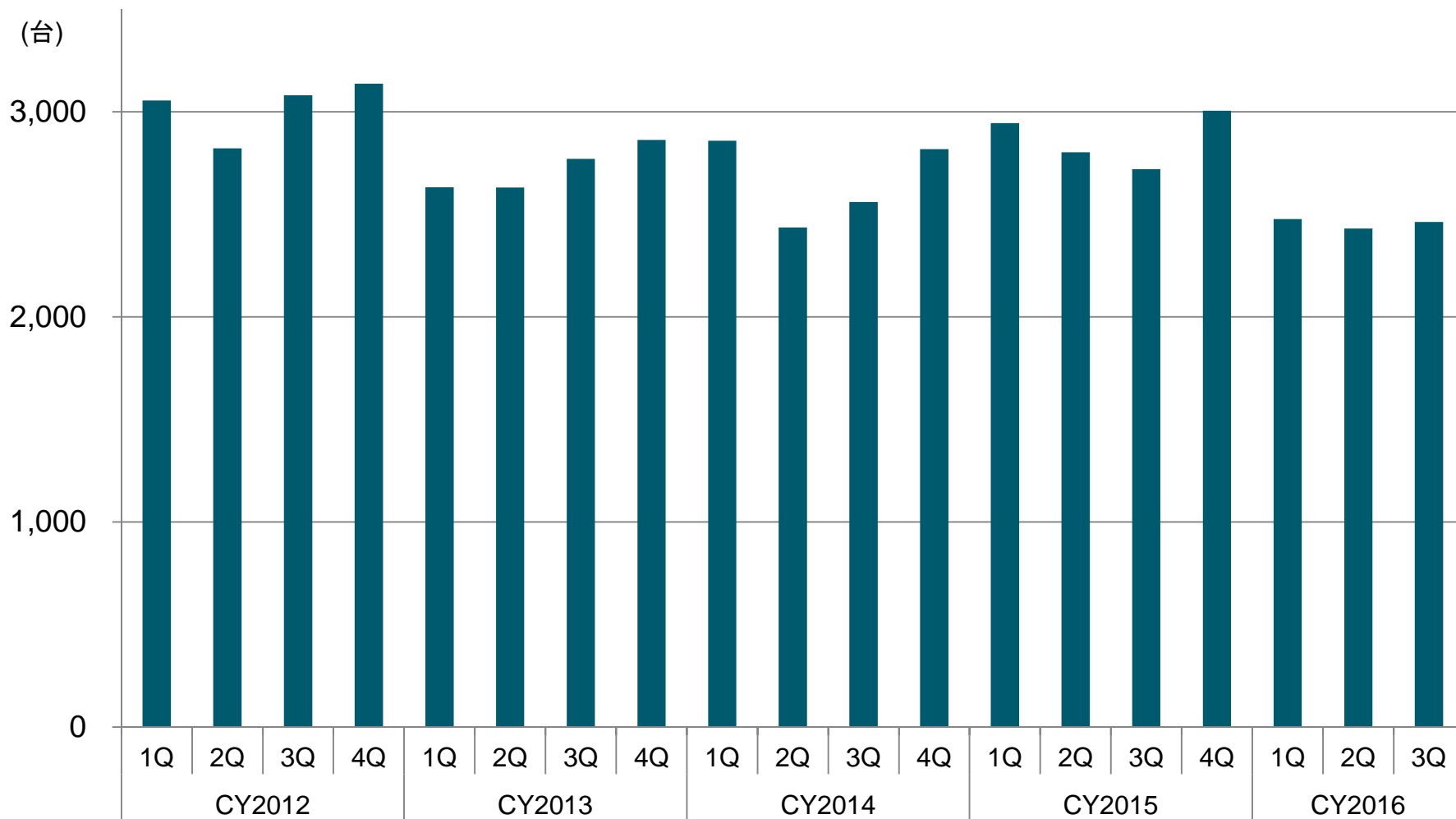
業種



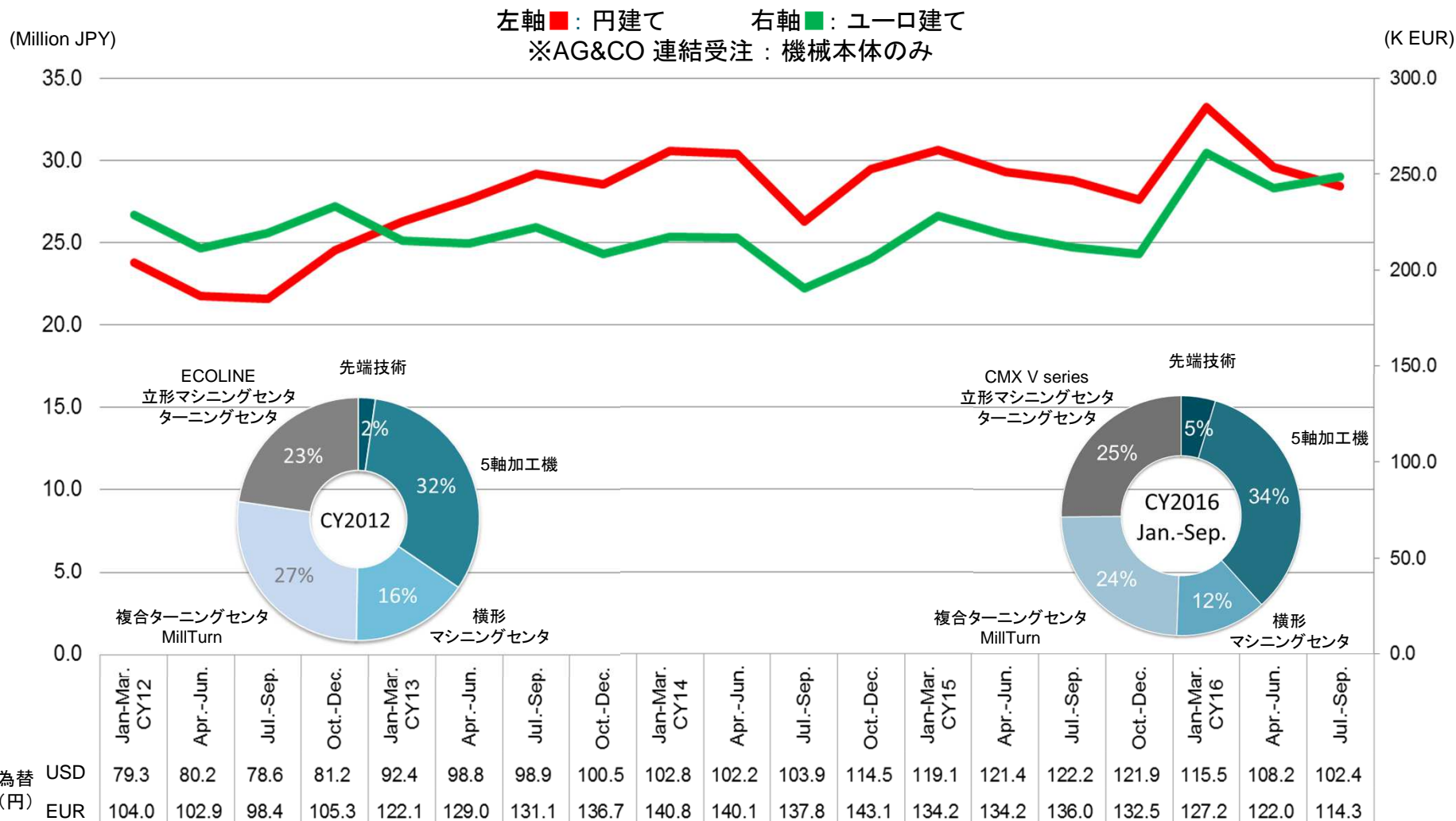
CY2015 → CY2016



連結生産台数

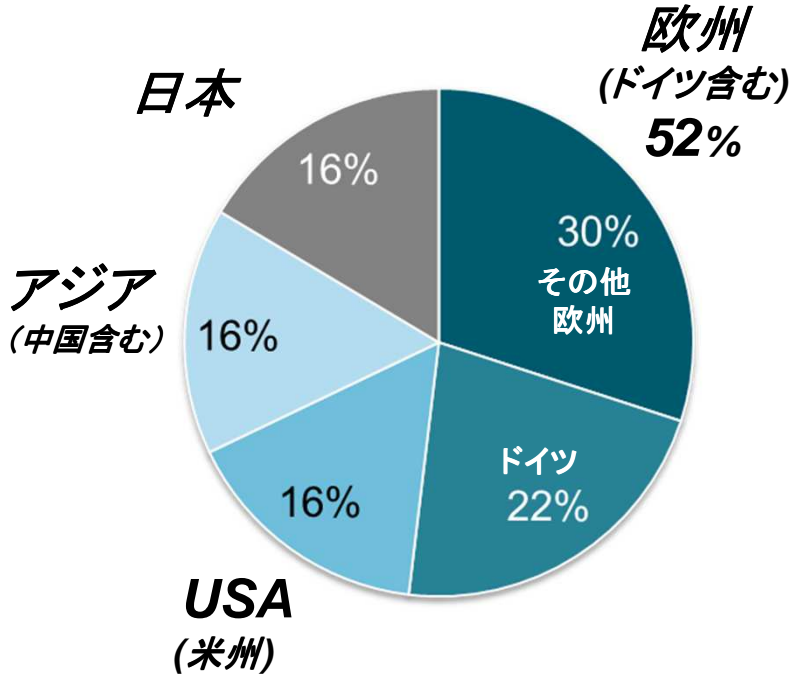


連結受注 平均単価

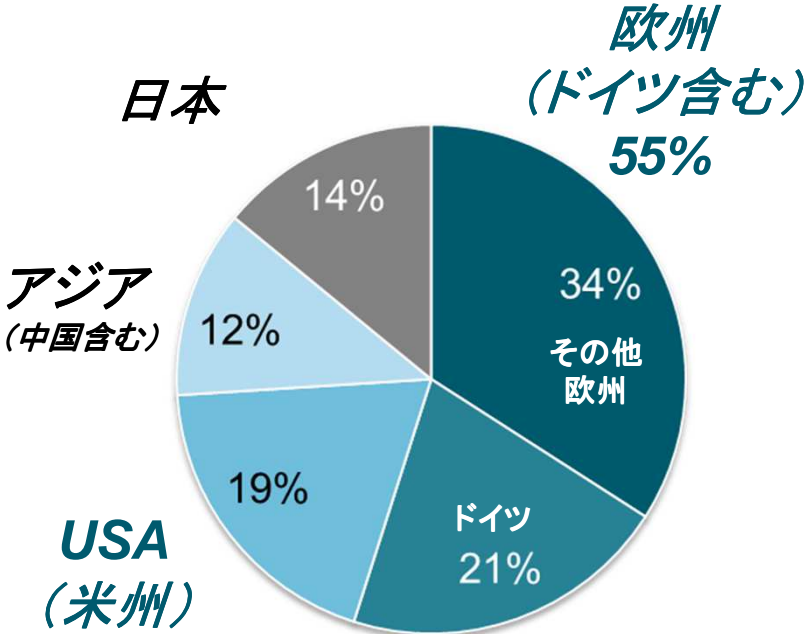


地域別受注動向（連結機械受注）

2015年1-12月



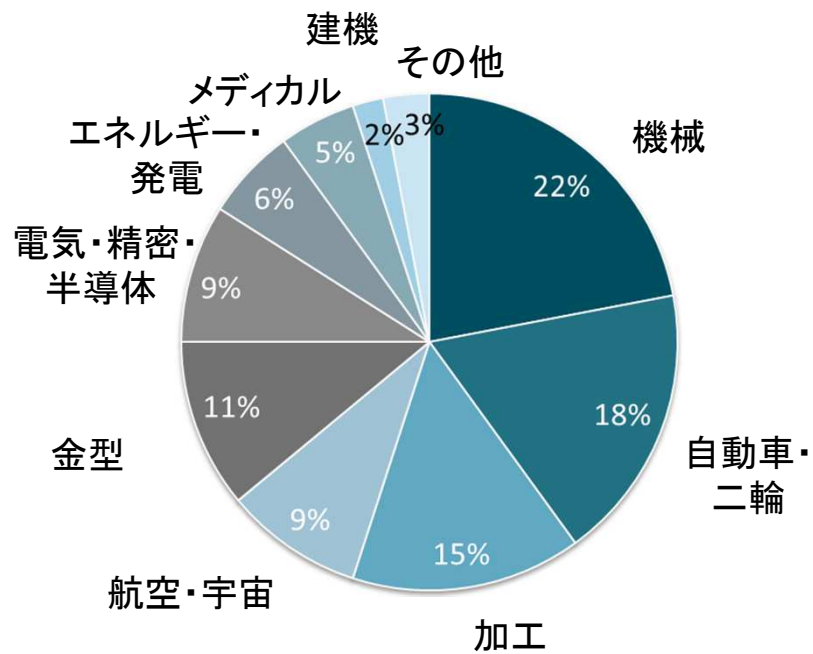
2016年1-9月



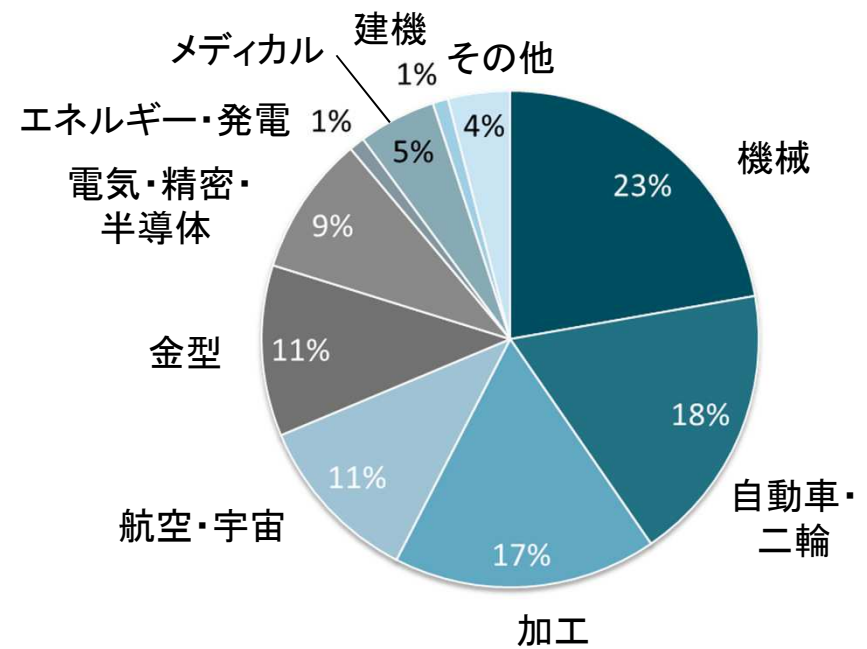
※金額ベース
※機械本体のみ

受注構成(業種別)

2015年7-12月



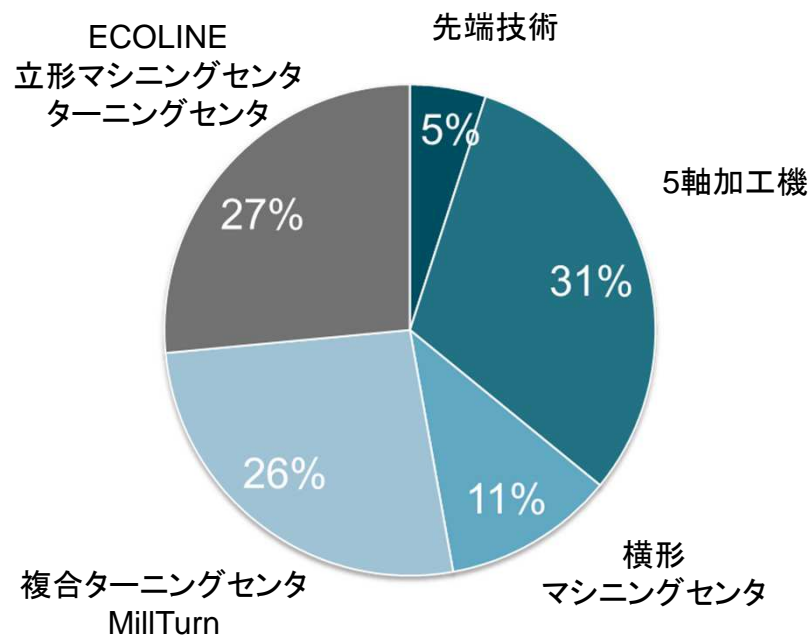
2016年1-9月



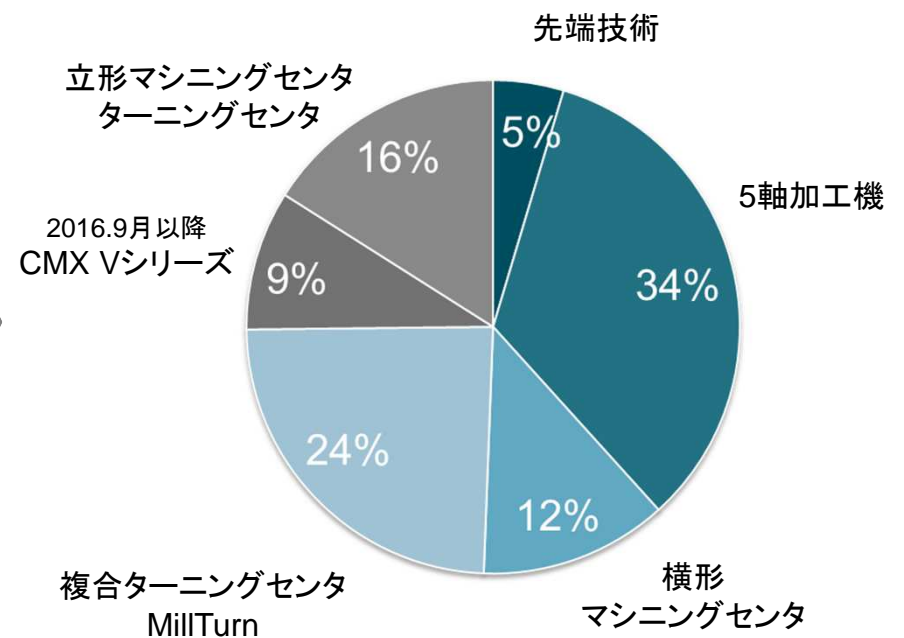
※金額ベース
※機械本体のみ

受注構成(機種別)

2015年1-12月



2016年1-9月



※金額ベース
※機械本体のみ

目次

- 1) DMG MORI AGとの完全一体化
- 2) 決算概要
- 3) 事業環境
- 4) **DMG MORI グループの取組**

大型展示会での最新ソリューション提案 (CY2016 2-3Q)

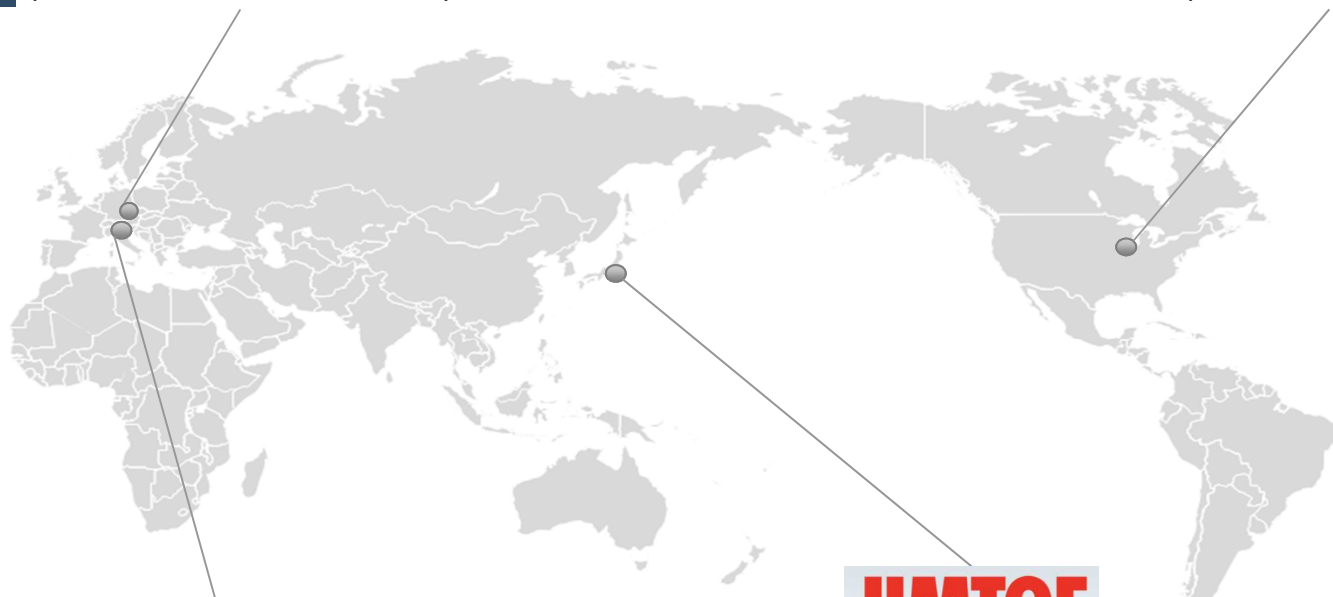
➤ Technology Cycles, CELOS + Industry 4.0, システムソリューション



2016年9月13-17日
(シュツットガルト, ドイツ)



IMTS2016 2016年9月12-17日
(シカゴ, アメリカ)



2016年10月4-8日
(ミラノ, イタリア)



2016年11月17-22日
(東京, 日本)

マイクロソフトとの技術協力

- クラウド技術による、スマートファクトリー実現へのインフラ整備



データ量、セキュリティ対策の重要性

DMG MORI × **Microsoft**

モータースポーツへの挑戦

- トヨタ自動車とのパートナーシップを新たに締結 (9月30日)

自動車産業のリーディングカンパニー



WRC 2017年シーズン～
FIA WORLD RALLY CHAMPIONSHIP

工作機械
加工技術・生産技術の提供



WEC 2014年シーズン～
FIA WORLD ENDURANCE CHAMPIONSHIP

過酷な条件下における部品性能
データ分析・フィードバック



ソフトウェア
ソリューション充実

自動車産業
関係性深化

自動車基幹部品加工
ノウハウ構築

内部データ
蓄積

免責事項

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。
これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいて
おります。

今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更